

Little Anne - AED Little Anne

リトル アン / AEDリトル アン

JAPANESE

取扱説明書



www.laerdal.co.jp



Laerdal

helping save lives

リトル アン

リトル アンはCPR(心肺蘇生)プログラムを低コストで実施できるように設計されています。教室でより多くのマネキンを使用できるため、講習生がマネキンに実際に触れる機会が増し、これによって積極的な参加を期待することができます。また技能訓練をより確実なものにするために必要なすべての教育上の要求事項を満たしています。

リトル アンは平均的な生理機能と解剖学的構造をもつ成人をシミュレートしており、一次救命処置技術である初歩的な心肺蘇生(CPR)のリアルな訓練のために設計されています。

特徴:

- 気道は自然な状態では閉じていて、頭部後屈や下顎挙上により気道を確保できます。
- 顔のつくりはリアルで顎が動きます。
- 換気によって胸の上昇が確認できます。
- 胸部はリアルな形状で圧迫位置を容易に確認できます。
- 正しい胸部圧迫の深さをクリック音にて確認できます。
- ソフトケースは開くと訓練用マットとして使用できます。

AEDリトル アン

AEDリトル アンは、トレーニングシステムとしてレールダルAEDトレーナ2と共に使用するように設計された製品です。AEDリトル アントレーニングシステムのレールダル・リンク・テクノロジーにより、AEDトレーナ2が選択されたシナリオを進めるには、マネキン胸部の正しい位置にトレーニングパッド(電極)を装着する必要があります。パッドが正しく装着されていないとAEDトレーナ2は音声で適切な指示を出します。胸部カバー上に目に見えるコネクタがなくともこのように反応します。AEDリトル アンは胸部カバー内にLEDが付いており、正しいパッド装着の中心位置を表示するようになっています。パッドがしっかり装着していないか、マネキンに正しい位置で装着してしていない場合は、AEDトレーナ2はパッドを装着するように繰り返し音声で指示します。

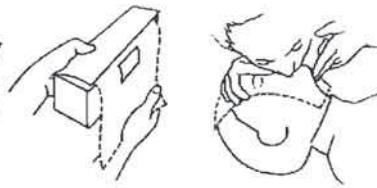
注: AEDリトル アンをレールダル・リンク・テクノロジーにて使用する場合は、白いコネクタの付いたトレーニングパッド(電極)が必要です。(Laerdal Link Technology のロゴマークが付いた電極です)

特徴(AEDリトル アンのみ):

- 胸部カバーのセンサーがパッド装着が適切かどうかを感知します。
- 胸部カバー内のLEDが点灯し、パッドの装着状態をフィードバックします。

マネキンフェイスシールドの使用方法

トレーニング中、適切に消毒して清潔な状態を保つことができますが、バリアディバイスを用いた吹き込みを希望する場合は安価なマネキンフェイスシールドをご利用下さい。実際の蘇生場面でレールダルフェイスシールドを用いた人工呼吸を行う場合の練習にもなります。

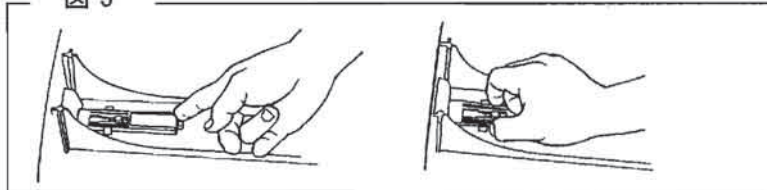


保守

一般的なマネキンのクリーニング

マネキン全体の日常的な消毒は必要としませんが、頭部、胴体、胸部カバー、及び訓練用マットの定期的なクリーニングをお勧めします。温かい石鹸液で洗い、清潔で濡れた布で拭き取って下さい。正しくお手入れしていただくことによって、リトルアンの外観及び全体的な状態を維持することができます。

図 5

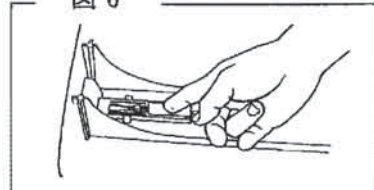


取り外し方法 - 図 5

胸部カバーを開きます。肋骨板を外し、胸部圧迫クリッカを「OFF」(外側)位置にします。

胸部圧迫クリッカの両側を押して持ち上げ、外側に押し出します。

図 6



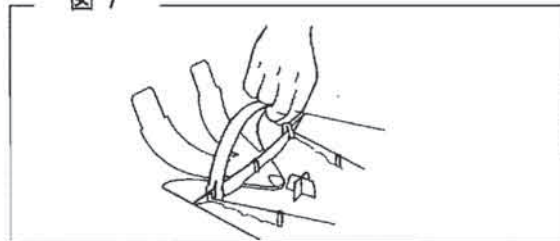
取り付け方法 - 図 6

外側から(パッドを上に向けて)胸部圧迫クリッカを挿入します。クリッカがその場所にはめ込まれるまで押し込みます。

クリッカ駆動部の交換 - 図 7

クリッカ駆動部は、肋骨板の下部に配置されています。図のように両端に渡し、肋骨板の穴にはめ込むことによって固定されます。

図 7

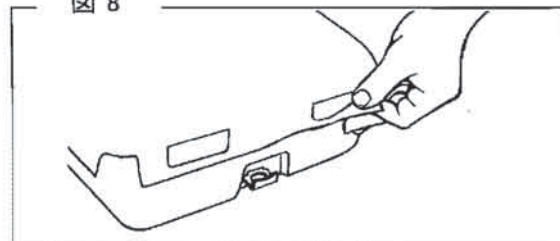


胸部カバーの交換 - 図 8

胸部カバーを保持部から外します。

注: AEDリトルアンの胸部カバーと肋骨板の下のバッテリーボックスをつなぐワイヤーに注意して下さい。2本のワイヤーをバッテリーボックスから取り出します。(新しい胸部カバーのワイヤーをバッテリーボックスに取り付ける際、どちらのワイヤーをどちらのソケットに取り付けても構いません)

図 8

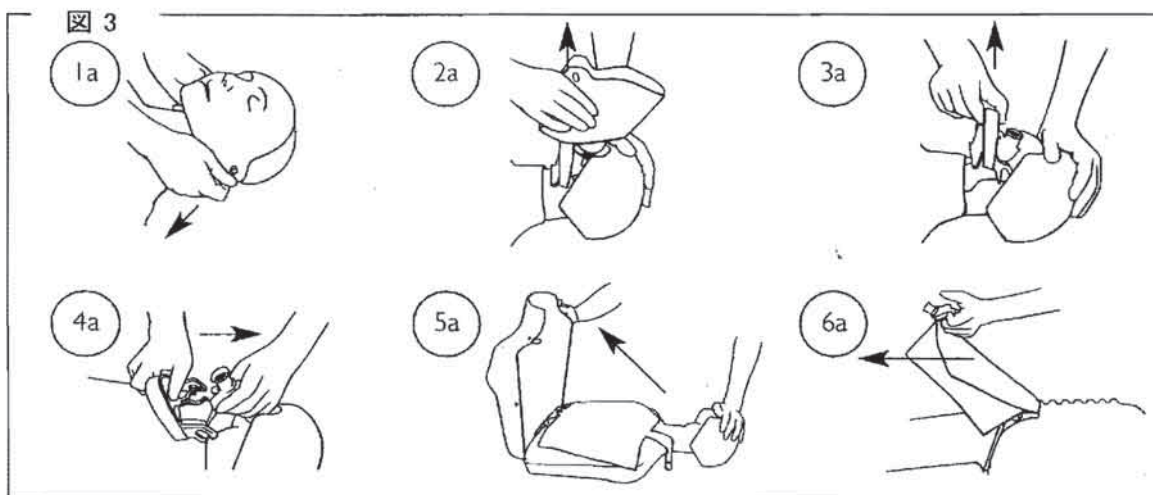


衛生

各受講者に対してマネキンフェイスを個別に用意することをお勧めします。受講者間の感染のリスクを除きます。受講者が1つのマネキンフェイスを共用することもできますが、受講者が変わるたびにフェイスの消毒を実施して下さい。リトル アン用気道は、各講習後に破棄して下さい。

マネキンフェイス及びリトル アン用気道の取り付け、取り外し

受講者がマネキンフェイスを交換する場合は、1a、2a及び5b、6bの手順を実施して下さい。

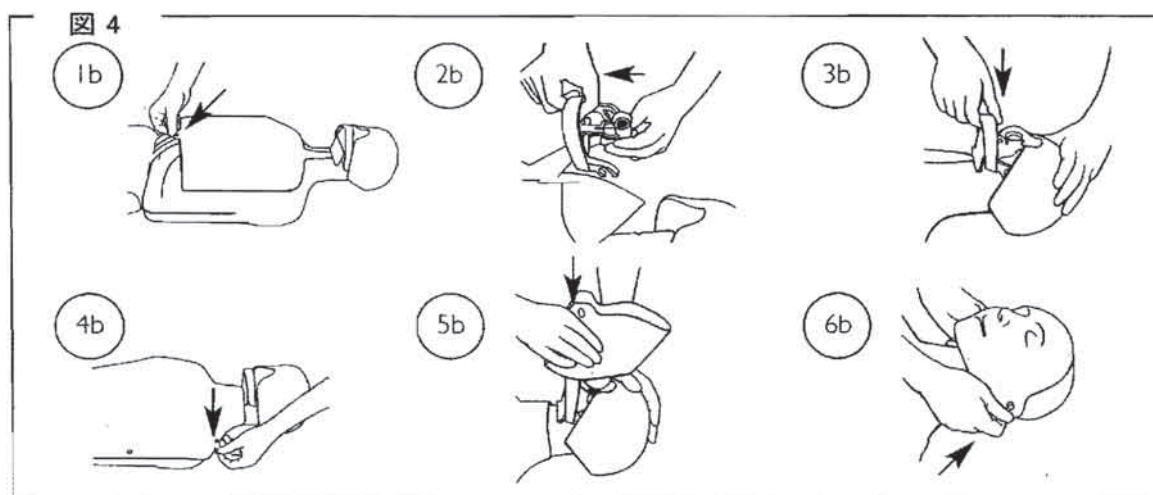


取り外し方法 図3参照

- 1a フェイスを両方の耳から外します。
- 2a フェイスを持ち上げ、気道バルブから外します。
- 3a 顎を頭部の軸から外します。
- 4a 気道バルブを外します。
- 5a 胸部カバーを開きます。
- 6a 使用済の気道を外し、破棄します。

取り付け方法 図4参照

- 1b 肺を胴体の上に広げ、ホックに取り付けます。
- 2b 気道バルブを顎にはめ込みます。
- 3b 顎を頭部の軸に取り付けます。
- 4b 胸部カバーを4つの固定具に取り付けます。
- 5b フェイスの接続部を気道バルブに接続します。
- 6b フェイスを両耳にある固定具に取り付けます。



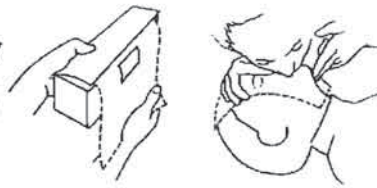
マネキンワイプを使用して消毒

包装からワイプを取り出し、マネキンの口・鼻をしっかりと拭いて下さい。30秒間放置し、マネキンフェイスを清潔なペーパータオルで拭き取り、乾燥させて下さい。



マネキンフェイスシールドの使用方法

トレーニング中、適切に消毒して清潔な状態を保つことができますが、バリアディバイスを用いた吹き込みを希望する場合は安価なマネキンフェイスシールドをご利用下さい。実際の蘇生場面でレールダルフェイスシールドを用いた人工呼吸を行う場合の練習にもなります。

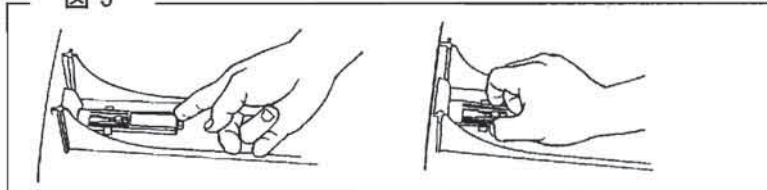


保守

一般的なマネキンのクリーニング

マネキン全体の日常的な消毒は必要としませんが、頭部、胴体、胸部カバー、及び訓練用マットの定期的なクリーニングをお勧めします。温かい石鹸液で洗い、清潔で濡れた布で拭き取って下さい。正しくお手入れしていただくことによって、リトルアンの外観及び全体的な状態を維持することができます。

図 5

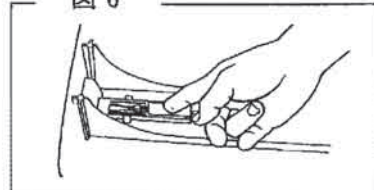


取り外し方法 - 図 5

胸部カバーを開きます。肋骨板を外し、胸部圧迫クリッカを「OFF」(外側)位置にします。

胸部圧迫クリッカの両側を押して持ち上げ、外側に押し出します。

図 6



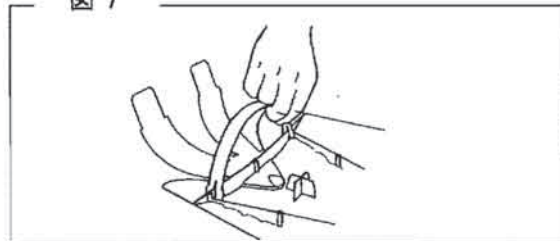
取り付け方法 - 図 6

外側から(パッドを上に向けて)胸部圧迫クリッカを挿入します。クリッカがその場所にはめ込まれるまで押し込みます。

クリッカ駆動部の交換 - 図 7

クリッカ駆動部は、肋骨板の下部に配置されています。図のように両端に渡し、肋骨板の穴にはめ込むことによって固定されます。

図 7

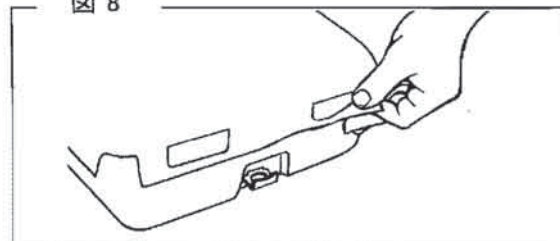


胸部カバーの交換 - 図 8

胸部カバーを保持部から外します。

注: AEDリトルアンの胸部カバーと肋骨板の下のバッテリーボックスをつなぐワイヤーに注意して下さい。2本のワイヤーをバッテリーボックスから取り出します。(新しい胸部カバーのワイヤーをバッテリーボックスに取り付ける際、どちらのワイヤーをどちらのソケットに取り付けても構いません)

図 8



頭部の交換 - 図 9

取り外し方法:

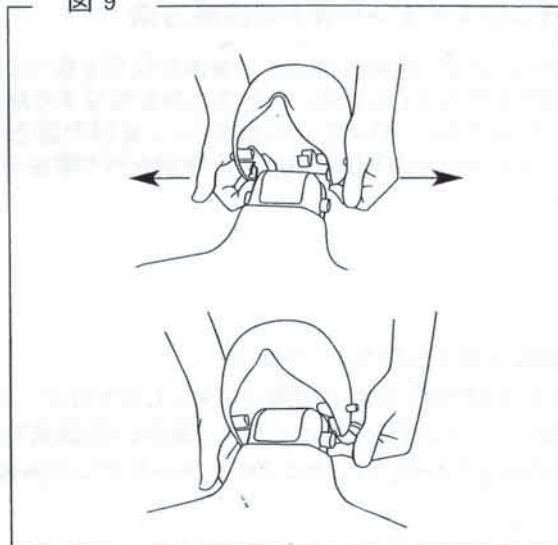
フェイス、気道及び顎を取り外し(図3参照)、頭部の下端を頭部が外れるまで外側に広げます。

取り付け方法:

頭部の内側に指を入れて、両手でマネキンの頭部をつかみます。外側に軽く引っ張りながら、頭部を首の軸に片側ずつスライドさせます。

気道、マネキン、フェイス及び顎の取り付けについては4ページをご参照下さい。

図 9



AEDリトル アンのみ

電池の交換

AEDリトル アンは9Vのアルカリ電池が付いています。

- 胸部カバーを開きます。

注: この際、胸部カバーと肋骨板の下のパッケージをつなぐワイヤーに注意して下さい。

- 古い電池を取り外し、新しい9V電池を取り付けます。新しい電池を取り付ける際は、バッテリーホルダーの内側に示す通り、電池の向きに注意して下さい。

電池残量の警告

- バッテリーボード下のテストボタンを押すと、電池残量が十分である場合は、胸部カバー内のLEDが点灯します。ボタンを押してもLEDが点灯しない場合は、電池を交換して下さい。
- AEDリトル アンの電池残量が少ない場合、レルダール・リンク・トレーニングパッドを装着すれば「バッテリーが低下しています」という音声メッセージをAEDトレーナ2が告げます。

